

# 第1学年 生活科（幼年教育）学習指導案

## 1 単元名

とびだせあそびたい～保育園児のお友達とシャボン玉遊びをしよう～

## 2 指導にあたって

### ○こんな子どもたちだから

- 子どもたちは「とびだせあそびたい（夏）」でシャボン玉遊びを経験し、シャボン玉遊びの楽しさを誰かに伝えたいという思いをもっている。 （意欲・関心・態度）
- これまでの生活科の学習で、遊び方について話し合ったり、楽しかったこと・頑張ったこと等を、少しずつ絵・言葉・お話で表現したりできるようになってきている。 （思考・表現）
- 歓迎遠足・校内探検での活動を通して、小学校生活において年長児との交流はあるものの、自分より年少児との交流はほとんどなく、相手の気持ちを考えたり相手の立場に立ちわかりやすく伝えたりするなどの経験は少ない。 （気付き・自分自身）

### ○こんな教材で

本単元は、自分達が経験したシャボン玉遊びを通して、保育園児と交流をする中で、相手のことを考えることの大切さや人と関わることの楽しさがわかるようになることをねらいとしている。

- 1学期に体験したシャボン玉で保育園児と交流することは、自信をもって関わり主体的な活動ができると期待できる。
- 保育園児との交流では、相手の気持ちを考えたりわかりやすく話したりという相手意識の芽生えにつながり、人と関わることの楽しさを実感する上でも、価値があると考ええる。
- 毎時の活動を振り返り、楽しかったこと頑張ったこと等を、絵や言葉で表現したり話したりする活動を位置付けることは、気付きの質を高め、達成感や成就感を味わうことができることから、意義があると考ええる。

### ○こんな方法で

#### 【出会う段階】

- 保育園児から届いたビデオレターを元に園児と一緒に遊びたいという意欲をもつようにする。これまでに学習した生活科を想起させることで、自分たちの得意なシャボン玉と一緒に遊ぼうという意欲をもたせるようにする。

#### 【ふかめる】

- 保育園児とシャボン玉で楽しく遊ぶための計画の時間を位置づける。話し合う中で、これまでお世話してもらった時のことを思い出したり相手の立場に立った考えを認めたりすることで、どうしたら保育園児が楽しく遊ぶことができるか、相手の立場に立って考えることの大切さに気付かせていきたい。

#### 【まとめる】

- 毎時間書いてきた絵や言葉を振り返る事で、頑張った自分に気付き保育園児へのビデオレター作りを通して、次の出会いを楽しみにできるようにしたい。

### ○めざす児童の姿

- 保育園児と一緒に、シャボン玉で楽しく遊ぼうとすることが出来る。 （関心・意欲・態度）
- 保育園児と楽しく遊ぶ計画を立てる中で、保育園児のことを考えた声かけや遊びをすることができる （思考・表現）
- 楽しかったこと・がんばったことを表現した絵や言葉を振り返り、頑張った自分に気付き、次の出会いを楽しみにすることができる。 （気付き・自分自身）

### 3 評価基準

	ア 生活への意欲・関心・態度	イ 活動や体験についての思考・判断	ウ 身近な環境や自分についての気付き
単元の評価基準	・身近な人に目を向け楽しく遊ぼうとしている。	・身近な人々と一緒に遊ぶことで人と関わる楽しさがわかり表現できる。	・これまでの活動を振り返り、頑張った自分に気づいている。
単元における具体的な評価基準	①保育園児と遊ぶ計画や準備をしようとしている。 ②保育園児と楽しく遊ぼうとしている。 ③進んで活動を振り返りビデオレターを作ろうとしている。	①保育園児とのシャボン玉遊びを工夫することが出来る。 ②保育園児のことを考えて楽しく遊ぶことができる。 ③工夫したことや楽しかったこと等を表現することができる。	①上級生からお世話してもらって楽しかったことに気付いている。 ②保育園児の立場で考え接することの大切さに気付いている。 ③保育園児との交流を通して頑張った自分に気付いている。

### 4 学習過程と評価

配時	主な学習活動と子どもの意識	教師の指導・支援・留意点	評価基準			評価資料 評価方法
			関心・意欲・態度	思考・判断	気付き	
であ う ①	<b>1 保育園からのビデオレターを見よう。</b> (1) ビデオレターの感想を話し合う。 ・一緒に遊びたいな ・遊んであげたいな ・6年生に優しくしてもらってうれしかったな (2) 一緒に遊びたいことを出し合う。 ・手遊びをしよう ・歌を歌おう ・シャボン玉遊びをしよう ○ 保育園児とシャボン玉で楽しく遊ぼう。	○ビデオレターを見せることで活動への意欲を高める。 ○自分たちも6年生や2年生にお世話になったことに気づかせる。 ○児童の思いに共感しながら保育園児が楽しめる遊びの視点から活動のめあてにつなげる。	①		①	話し合いの場の観察  話し合いの場の観察
ふ か め る ④	<b>2 保育園児とシャボン玉で楽しく遊ぶ計画を立てよう。</b> (1) 楽しく遊ぶ計画を話し合う。 ・だれとするの	○話し合う中で、相手の立場に立った意見に目を向けさせていく。	①		②	話し合いの場面の観察

<p>(ペア・グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこですか？</li> <li>・シャボン玉の道具は？</li> </ul> <p>◆今日の学習を振り返ろう (頑張りたいこと・してあげたいこと)</p>					カード・発言
<p><b>(2) シャボン玉の道具を準備しよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャボン玉遊びの道具の作製</li> </ul> <p>◆今日の学習を振り返ろう</p>	<p>○準備に困ったことがあればクラス全体へ広げみんなで考えていくようにする。</p> <p>○製作しながら試すことができるようにする。</p>	①		②	行動観察
<p><b>(3) 交流会の準備・練習をする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアになって練習してみよう。</li> <li>・聞こえないよ、大きな声で言った方が良いでしょう。</li> <li>・シャボン玉の道具の紹介が難しいよ。</li> <li>・やってみせるとわかりやすいよ。</li> </ul> <p>◆今日の学習を振り返ろう。</p>	<p>○保育園児に交代でなってみることで、どんなところを工夫すればいいか視点をもたせ活動させる。</p>	①		②	行動観察
<p><b>3 保育園児とシャボン玉遊びをしよう。(本時)</b></p> <p>(1) 仲良しになろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごあいさつをしよう</li> <li>・自己紹介をしよう</li> </ul> <p>(2) シャボン玉で遊ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくがつくったんだよ。</li> <li>・ゆっくりするといいよ。</li> <li>・飲まないでね。</li> <li>・大きいシャボン玉をつくってみる？</li> </ul>	<p>○楽しかったこと頑張ったことを発表する中で保育園児のことを考えている気付きを広めていく。</p>		③		カード・発言

	<p>(3) 楽しかったこと・嬉しかったこと・頑張ったことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お友達が笑ってくれて嬉しかった。</li> <li>・頑張ったよ。</li> <li>・また遊びたいです。</li> </ul> <p>◆今日の学習を振りかえろう。</p>	<p>○友達との関わり合いを賞賛する。</p>			②	話し合いの場面の観察	
まとめ ①	<p>4 保育園児へビデオレターを送ろう</p> <p>(1) どんな内容にするのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったね</li> <li>・また、あそぼう</li> </ul> <p>(2) ビデオを撮影しよう。</p> <p>(3) 活動を振り返り絵や言葉でまとめよう。</p> <p>◆今日の学習を振りかえよう。</p>	<p>○ビデオレター作成を通し、頑張った自分、成長した自分に気付くようにする。</p>	③		③	② ③	カード 行動観察 カード・発言

### 3 本時 シャボン玉遊びをしよう

平成 22 年 10 月 日 ( ) 校時

体育館・運動場

#### 4 本時の目標

- 保育園児と一緒にシャボン玉遊びを楽しむことができる。(関心・意欲・態度)
- 保育園児のことを考えた遊びや声かけができる。(思考・表現)
- 楽しかったこと・嬉しかったこと・頑張ったことを表現することができる。(気付き)

#### 5 本時指導の考え方

本時は、ペアの保育園児との出会いの場面である。年長児として園児の事を考え、優しさや思いやりをもって接し仲良くなることをねらいとしている。

1 学期「とびだせあそびたい(夏)」の学習で、子ども達は①大きいシャボン玉をつくろう ②身の回りの物を使ってシャボン玉の道具を造ろう ③たくさんのシャボン玉をとばそう。の活動を通しシャボン玉遊びを十分に楽しんでいる。どうしたら大きいシャボン玉ができるのか、試行錯誤したり繰り返し遊んだりしながら取り組んでいた。大きいシャボン玉を作るには、石けん膜を割らないようにゆっくり丁寧に道具を動かすこと、シャボン玉を道具から切り離す時切るように道具をねじると大きなシャボン玉をつくることに気付き、そのコツを試している子ども達がたくさんいた。また、息を吹きかけるだけでも小さめのシャボン玉ができること、風の力をうまく利用するとシャボン玉ができることなど、風の力を利用してつくる工夫も見られるようになった。また、大きいシャボン玉よりも小さいシャボン玉の方が作りやすい事に気付き、身の回りにある物を活用したり色々な道具を造ったりして楽しんでいる。自分たちの造った道具で大小たくさんのシャボン玉をとばし、シャボン玉祭りといって楽しんでいる姿も見られた。

保育園から届いたビデオレターを見た子どもたちからは、保育園に行きたい・一緒に遊びたい・学校に招待したいとの声が上がった。学校に招待することに決まり、何をして遊ぶか話し合ったところ、自分たちの造った道具と一緒にシャボン玉遊びをすることになった。そこで前時までに、保育園児の立場にたちシャボン玉遊びの計画・準備・練習を行ってきている。子どもたちは交流会をととても楽しみにしており、シャボン玉遊びのときには、手をつないであげる・話しかけてあげる・手を持って道具の使い方を教えてあげると、子どもたちの思いも高まっている。

本時の活動は、ペアのお友達と自己紹介をし合いシャボン玉遊びを一緒に楽しむ。始めに、一人一人のたてためあて(園児にしてあげたいこと・がんばりたいこと)を確認し活動に入りたい。園児のために用意した道具を紹介し、遊んでみたい道具を選んでもらうようにする。経験しているシャボン玉遊びは、自信をもって道具の使い方を教えてあげたり、ゆとりをもって園児に関わったりすることができると思う。

シャボン玉遊びでは、ペア毎にシャボン玉液をつける容器を準備し、十分に活動できるようにしたい。また、何か困ったことが起きた場合、アドバイスしあえるように、ペアを基本としたグループを中心に活動できるようにする。仲良く活動しているペアを賞賛したり、楽しい遊びの工夫があれば全体に広げたりしていきたい。また、活動が停滞したり、単独に活動を始めていたりした場合、関わり合って遊ぶことができるよう声かけをしたり、一緒に遊んでみたりするなど、サポートしながら場を回りたい。

まとめにおいて、体育館に集合し、楽しかったこと・嬉しかったこと・頑張ったことを振りかえる。人との関わり合いのよさに気づくことができるよう、相手に対しての感想を賞賛したり(児童→園児が笑ってくれて、ぼくの道具で楽しく遊んでくれて、喜んでくれて 園児→優しくしてくれて・手をつないでくれて等)問い返しをしたりして、関わり合いの良さの気付きを高めていきたい。

#### 6 準備

シャボン玉液 シャボン玉液入れ(引き出し) シャボン玉遊びの道具 マイク

主な学習活動と子どもの意識	教師の支援 (○) と評価基準 (◇)	準備
<p><b>1 顔合わせ会をする。(5分)</b></p> <p>①みんなであいさつ</p> <p>②ペアを作る</p> <p>③自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お友達と会えてうれしいな</li> <li>・はやくシャボン玉をしたいな。</li> </ul>	<p>○教師と保育士とで自己紹介のお手本を示し、楽しい雰囲気作りに努める。</p>	<p>マイク CD</p>
<p><b>2 シャボン玉遊びをする。(30分)</b></p> <p>①めあての確認</p> <p>なかよくなるために、ペアの友だちとシャボン玉をしてあそぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いっぱい話しかけてあげよう。</li> <li>・お話を聞いてあげよう。</li> <li>・手をつないであげよう。</li> <li>・遊び方を教えてあげよう</li> <li>・お手本を見せよう。</li> <li>・道具を貸してあげよう。</li> <li>・たくさん遊ばせてあげたいな。</li> <li>・危ないことをしたら守ってあげよう。</li> </ul> <p>②シャボン玉の道具の紹介をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくの造ったシャボン玉の道具だよ。</li> <li>・こうやって手で振るとたくさんできるよ。</li> <li>・口で吹くと、小さいのがたくさんできるよ。</li> <li>・どれで遊んでみたい？</li> </ul> <p>③ペアと一緒にシャボン玉遊びをする。</p> <p>【遊び方を教える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと液をつけた方が良いよ。</li> <li>・こうしたらいいよ。</li> </ul> <p>【遊び方の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「せーの」でつくってみよう。</li> <li>・一緒につくってみよう。</li> <li>・どっちがたくさんできるか競争してみよう。</li> </ul> <p>【関わり合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の道具も使って良いよ。</li> <li>・これを使ってみない？</li> <li>・貸してあげるよ</li> </ul>	<p>○各自たてているめあての確認をするよう促し、活動目的を意識できるようにする。</p> <p>◇園児もすぐに楽しく遊ぶことができるように、自分の造った道具の紹介をすることができているか。 (思考・表現①②)</p> <p>○してはいけないこと・活動場所の確認をする。</p> <p>○音楽の合図で、道具を運動場の机の上に置き、体育館に戻ってくることを確認する。</p> <p>○十分にシャボン玉遊びができるように、液をつける容器を多く準備しておく。</p> <p>○楽しく活動しているペアや遊びの工夫を賞賛したり全体に紹介し広げたりする。</p> <p>○関わり合いのない活動をしているペアに対し声かけをしたり、一緒に遊んだりして関わり合いがもてるようにする。</p> <p>◇園児にシャボン玉遊びを教えたり、声をかけながらシャボン玉遊びを一緒に楽しんだりすることができるか。 (意欲・関心・態度③)</p>	<p>掲示物</p> <p>シャボン玉遊びの道具 シャボン玉液 机の引き出し 雨天時 体育館用のビニールシート</p>

<p><b>3 本時のまとめをする (10分)</b></p> <p>①頑張ったこと・うれしかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に遊べて楽しかった。</li> <li>・とっても楽しそうに遊んでくれてうれしかった。</li> <li>・ぼくの造った道具で遊んでくれてよかった。</li> <li>・にっこり笑ってくれてうれしかった。</li> <li>・お手本を見せるのを頑張りました。</li> <li>・たくさんお話ししました。</li> </ul> <p>②次の交流について知る。</p>	<p>○人との関わり合いに関する感想を賞賛したり問い返しをしたりすることで、人との関わり合いの良さへの気づきを高めていく。</p> <p>◇保育園児の立場で考えること・楽しく遊ぶことの大切さに気付くことができているか？ (気づき②)</p> <p>○第2回目の交流会を3学期にすることを知らせ、園児との交流会に対し、意欲をもたせる。</p>	
---	--	--